

ウィズ じょうえつ からの おたより

～ 6月23日から29日は男女共同参画週間です～

令和3年度男女共同参画週間キャッチフレーズ（内閣府男女共同参画局）

女だから、男だから、ではなく、 私だから、の時代へ。



「女だから、男だから」という理由で、何かを諦めたことはありませんか？
性別にとらわれて自分自身を縛ったり、相手に求めすぎたりしていませんか？
「いつか」生きやすい社会ではなく、「いま」生きやすい社会にしていけるため、男女が互いに協力しながら人権を尊重し、一人ひとりの個性を認め合うことが大切です。

職場で

ワークライフバランスを大切にしていますか？



仕事と家庭、どちらも大切

家庭で

誰か一人に、負担が偏っていませんか？



子どものお世話はお母さんだけ？

地域で

昔ながらの慣習を引きずってはいませんか？



会議に出るのは男性だけ？

＞ お問合せ先

ウィズ じょうえつ (上越市男女共同参画推進センター)

住所：〒943-0821 上越市土橋1914番地3 上越市市民プラザ2階

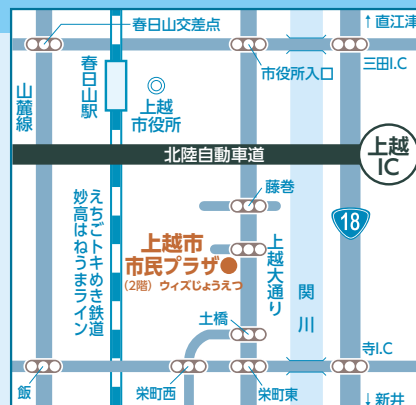
TEL 025-527-3624 FAX 025-522-8240

E-mail : d-sankaku@city.joetsu.lg.jp

開設時間：月曜日～金曜日の午前8時30分～午後5時15分

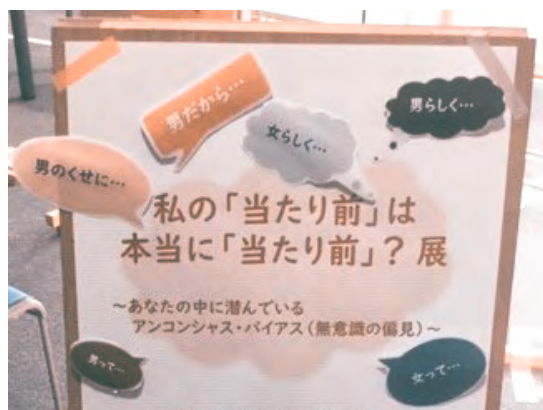
お休み：土・日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日まで）

市民プラザ休館日（第3水曜日、この日が祝日の場合はその翌日）



私の「当たり前」は本当に「当たり前」？ 展 (市民プラザ 2/26～3/8)

～あなたの中に潜んでいるアンコンシャス・バイアス (無意識の偏見)～



男女共同参画サポーター等から募集した「無意識の偏見」の例を展示し、来場者の皆さんから自分の中にある思い込みと向き合ってもらいました。

下記の例を参考に、家庭や地域、職場や学校などでも、自分の中の「当たり前」について考えてみましょう。



【「アンコンシャス・バイアス」(無意識の偏見)の例】

男子厨房に入るべからず	デート代を支払うのは男性
家事や育児を「手伝う」	女性は細やかな心配りが得意
男は泣いてはいけない	「オトコ」は力持ち
女々しい	女性は話が長い
世帯主は男性	女の子はお人形、男の子は車のおもちゃ
炊き出しは女性の仕事	女の子は行儀よく
町内会長は男性	運動部のマネージャー＝女子
女性は感情的	応援団長＝男子



上記の例のように「無意識の思い込みや偏見」は日常にあふれていて、誰にでもあるものです。大切なのは、こうした「無意識の偏見」が、気づかぬうちに相手を傷つけたり、苦しめたりすることがあることを意識して行動することです。

「女だから」、「男だから」ではなく、「その人らしさ」を尊重することが大切です。

＞ 女性相談窓口のご案内 (無料) ～あなたの悩みをお聞かせください～

□女性相談員がDV(配偶者や交際相手等からの暴力)、家庭や職場、人間関係など様々な悩みに関する相談をお受けしています。一人で悩まずご相談ください。秘密は固く守ります。

※周りに悩みを抱えている人がいたら、相談を勧めてください。男性や匿名のご相談もお受けします。

◆相談場所 ウィズじょうえつ(上越市市民プラザ2階)内 ☎943-0821 上越市土橋1914-3

◆開設日時 月曜日～土曜日/午前9時～午後5時(火曜日は午後7時まで電話相談のみ延長)

※日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)、市民プラザ休館日(第3水曜日、この日が祝日の場合はその翌日)はお休みです。

※公の施設での出張相談も行っています。出張相談は相談希望日の3日前までにご予約ください。

■専用ダイヤル: 025-527-3614

■E-mail(相談申込): w-soudan@city.joetsu.lg.jp